

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 所属班, 電話番号, 内線, 基本方針, 施策, 施策の展開, 基本事業, 予算科目, 根拠法令, 科目, 項目, 金額.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返 and 期間限定複数年度.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳 (24年度の実績), ② 延べ業務時間の内訳 (24年度の実績). Includes sub-items like 需用費, 役務費, 委託料.

Summary table for costs and personnel. Columns: 費目内訳, 単位, 22年度(決算), 23年度(決算), 24年度(決算), 25年度(計画).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Main table for activity, objectives, and indicators. Columns: 手段, 目的, 上位目的, 活動指標名, 対象指標名, 成果指標名(考え方), 上位成果指標名(考え方). Includes rows for ① 主な活動, ② 対象, ③ 意図, ④ さらに, ⑤ 活動指標名, ⑥ 対象指標名, ⑦ 成果指標名, ⑧ 上位成果指標名.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か?, ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?, ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	(新)第二学校給食センター管理費	課名	学校教育課	班名	給食班
-------	------------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 安全で衛生的な給食が提供されることは児童生徒の心身の発達に寄与するものであり、政策体系に結びつく。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 安全で衛生的な学校給食を提供する、という学校給食センターの目的から、対象・意図は適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 学校給食法により、義務教育諸学校設置者は学校給食の実施に努めることとされており、学校給食の普及及び食育の推進を進めていくうえでも市が実施する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 施設衛生管理は最新の基準に対応しており、食中毒や調理に支障をきたす不具合も起こっていないため、妥当である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 従来どおりの活動を続けて、現在の成果水準を維持する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：(第一学校給食センター管理事務) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 管理委託業務を第一学校給食センターと共同で発注、契約締結を行うことは可能。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 毎日の調理業務に支障がないように維持管理に努め、安全、安心な学校給食を提供するため、衛生管理には最大の配慮が必要であるが、空調設備の使用基準を設けて光熱水費の抑制を行ったり、管理委託契約業務を第一学校給食センターと共同発注・契約することにより、削減できる可能性はある。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市有施設であり市直営で施設管理全般を行うので、職員が事務をするのは妥当である。ただし、他施設とまとめられる業務や事務効率のよい方法があれば削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校給食法で学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに運営に要する経費等は設置者が負担することとなっているので適正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校給食法に基づき、市内の全児童生徒に安全で安心な給食を年間192日間提供するため、現在の水準を維持する。また、第一学校給食センターとの連携や光熱水費等の抑制により、更なるコストの削減を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業:第一学校給食センター管理事務) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
①平成25年度中に第一学校給食センターとの管理委託契約の一本化の検討し、平成26年度の契約から一本化を行う。 ②施設、設備等の故障や破損が無いように普段の点検等に気を付けたり、電気の使用抑制等に努め、修繕費や備品購入等の支出を抑える。(継続)																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
①特になし。 ②経年使用による故障、破損は避けられない。(故障、破損等は、早くまた小さなときに見つけ、大きな修繕にならないようにする。)																						